



県政報告 県政を身近に

平成29年
2017
冬季号

Vol.22

埼玉県議会議員

武内まさふみ

【発行】
埼玉県議会 自由民主党議員団

〈ごあいさつ〉

皆様には平成29年の新年を迎えられ、心からお慶び申し上げます。本年は、地方創生の「総合戦略」が3年目を迎え、地方再生の取組が本格化する重要な年になります。県土の均衡ある発展は、持続可能な地域の存在が不可欠です。そのためには、地方創生を着実に進めることが必要です。私は、引き続き、毛呂山、越生、鳩山地域の活性化に全力で取り組んでまいります。皆様からのご意見・ご提案をお待ちしています。

●小児医療センター保健 発達棟の改修〈病院事業会計〉

債務負担行為
の設定 **8億8,339万8千円**

平成30年4月から、小児医療センター保健発達棟（さいたま市岩槻区）に医療型障害児入所施設の運営を開始するため、改修工事費等の平成29年度支出予定枠を決めました。

財産の取得 新型インフルエンザ対策 用の治療薬の買い替え

平成18年から備蓄している治療薬が使用期限を迎えるため、備蓄薬を更新します。

タミフル
ドライシロップ
18万4,900人分
約3億5,465万円

ラビアクタ点滴静
注液
6万6,000人分
約1億4,290万円

注）イナビル2,329万円は議決の対象（7千万円以上）外

出張理美容に講習を義務付け 全国初【議員提案条例を可決】

国が出張理美容の対象を認知症患者や障害者等にまで拡大したことから、今後、出張理美容が増えるが見込まれます。そこで、自民党議員団は、理容師法・美容師法施行条例の一部改正条例を議員提案し、出張理美容の場合、開始する際の届け出以外に保健所による衛生面での指導は行われていないので、定期的な講習を受けることを義務付けました。講習の義務付け条例の制定は、都道府県で初めてです。

▶本条例を議員提案する
本会議の様子の様子



平成28年12月定例県議会（平成28年12月2日～12月22日）

福祉・保健医療関連を中心とした補正予算を承認

【一般会計】
8億8,382万4千円

【病院事業会計】
14億4,971万7千円

主な補正予算

●社会福祉施設等の防犯対策 の強化 **3億1,302万4千円**

昨年7月に相模原市の障害者施設で起こった殺傷事件を受けて、防犯カメラや非常通報装置などを障害児（者）施設、児童養護施設等に整備します。

▶防犯カメラ（左）とそのモニター画像（右）



●薬品費の増額 〈病院事業会計〉

14億4,971万7千円

約74億9,400万円

約89億4,400万円

皮ふがんから肺がん等への適用拡大が承認された新しいタイプのがん治療薬「オプジーボ」の使用量の増加が見込まれることから、薬の購入限度額を増額します。

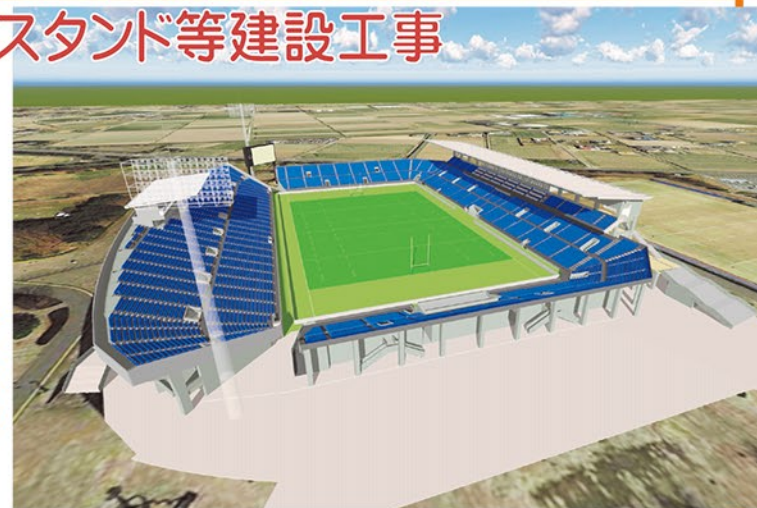
〈工事請負契約の承認〉

●熊谷ラグビー場新スタンド等建設工事

ラグビーワールドカップ2019の開催に向けて、熊谷スポーツ文化公園内のラグビー場を改修する工事

- 請負金額 79億776万円
- 請負業者 清水建設株式会社
- 工事内容 メインスタンド、サイドスタンドの新設及び、バックスタンドの観客席改修（観客席：約24,000席）

▶熊谷ラグビー場の完成予想図



県が太陽光発電施設設置への規制強化のためのガイドラインを策定

太陽光発電施設の設置は、設置場所や近隣住民との協調などは法的な規制が緩く乱立状態にあります。そこで、武内県議が昨年の9月定例県議会の一般質問で、規制強化のための指針（ガイドライン）の設置を県に求めました。この提案を受けて、県では昨年12月、モデルガイドラインを作成し、市町村に示しました。市町村はこのガイドラインの作成例に基づいて、独自のガイドライン等を策定することになります。

ポイント

- 規模の大小にかかわらず、市町村と事前協議を義務付けました。
- 自然公園内や急傾斜地など「設置するのに適当でないエリア」を明記しました。該当地域に設置しようとする場合、事業者は、計画の中止を含め抜本的な見直しを行わなければなりません。

平成28年9月議会で一般質問する武内県議



太陽光発電パネルの設置例

高齢運転者対策・改正道路交通法が 3月12日からスタート

高齢運転者による事故が増えていることから、平成29年3月12日から道路交通法が改正され、高齢者講習の仕組みが変わります。

- 75歳以上の運転者が一定の違反行為を行ったときは、新たに**臨時認知機能検査**を受け、認知症の恐れがあると判断された場合は、**臨時高齢者講習**を受けなければなりません。
- 免許証の更新の際、認知機能検査で認知症のおそれがあると判断された人は、医師の診断を受けなければなりません。
- 高齢者講習で、75歳未満の人と認知機能検査で認知機能の低下の恐れがないと判定された人は、講習時間が2時間に短縮されます。

▶高齢者講習の様子



議員政策条例制定へ！ パブリック・コメントを募集！

自民党議員団では、さらなる県内農林水産業の振興・支援を目的として「埼玉県農林水産業振興条例案」を策定致しました。また、相次ぐ山岳事故を受け、防災航空隊による山岳救助に対する費用負担を求める「埼玉県防災航空隊の緊急運業務に関する条例の一部を改正する条例案」を策定致しました。

この度、条例制定に向けた条文案を下記ホームページにて公表させて頂き、広く県民のご意見・情報等を募集します。募集期間は、1月6日から2月5日までの予定。皆様のご意見・ご協力をお願い申し上げます。

自民党埼玉県支部連合会ホームページ
www.jimin-saitama.net



▲政務調査会にて条例協議に臨むメンバー

県への要望

■新川越越生線建設促進

(11月1日)

関係市町の首長と県議会議員が、岩崎副知事に対して建設促進を要望しました。



▲要望書を受け取る岩崎副知事

■県道川越坂戸毛呂山線バイパスの早期着工

(11月8日)

武内県議が毛呂山町長、副議長とともに、県土整備部に対して早期着工を要望しました。



▲要望書を受け取る西成副部長

武内まさふみの活動日誌

■福祉保健医療委員会

(11月9日～10日)

●福祉医療センター港南(横浜市)
重症心身障害医療・福祉における横浜市の中核施設として、平成28年6月にオープンしました。重度心身障害児(者)施設としては、国内初の本格的ユニットケア(自宅と同じような住環境)を備えています。



▲運動機能回復のためのリハビリ器具

●神奈川県動物保護センター(平塚市)

同センターでは、引き取った動物の飼い主探しを行うボランティア団体との連携により、平成27年度まで3年連続で犬の殺処分ゼロ、2年連続で猫の殺処分ゼロを達成しました。



▲保護されている犬

■農林水産業振興条例プロジェクトチーム

●9月20日(米作等、果樹、野菜) 大規模農業を行っている(有)中条農産サービス(熊谷市)、ブドウなどの果樹栽培を行っている榎本農園(上尾市)、ヨーロッパ野菜を国内で栽培してレストランに供給している、さいたまヨーロッパ野菜研究会(岩槻区)を視察しました。



▲栽培しているヨーロッパ野菜

●10月17日(水産業、林業、畜産関係)

ホンモロコを養殖している掛川養魚場(熊谷市妻沼)、こだま森林組合の木材伐採現場(神川町)、「武蔵牛」のブランド名の牛を育成・販売する、さかい牧場(深谷市今泉)を視察しました。

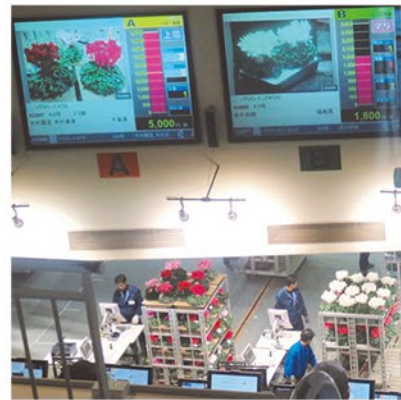


▲こだま森林組合の木材伐採現場

視察

●12月5日(園芸、花き関係)

県内唯一の花き園芸の市場である鴻巣フラワーセンターと園芸を手掛けている吉田園芸(鴻巣市)、洋ランの育成・販売を行う黒白洋蘭店(さいたま市見沼区)を視察しました。



▲鴻巣フラワーセンターの競り市の様子

■自民党県議団医療懇話会(10月31日)

懇話会では、さいたま新都心医療拠点施設である埼玉県小児医療センターと日本赤十字病院を視察しました。



▲日本赤十字病院の屋上ヘリポート

式典等への列席

■埼玉県戦没者追悼式

(10月21日 さいたま市民文化センター)

福祉保健医療委員会副委員長として出席。毛呂山、越生、鳩山3町の遺族会の方々も出席しました。



▲戦没者追悼式典の様子

■西人間地区地域安全暴力排除推進大会

(10月29日 坂戸文化会館)

交通事故撲滅に向けた宣言が採択されました。

■障害者ダンス公演

(11月12日 県芸術劇場)

出演者が音楽に合わせて生き生きと、そしてユーモラスに演じる姿に感激。



▲障害を感じさせない見事な演技

■埼玉県社会福祉大会

(11月16日さいたま市民文化センター)

社会福祉関係に長年携わってきた方々に感謝状を贈呈。